

## 「第2期第2回環境教育・環境学習推進懇話会」議事録

- 1 日 時：令和7年1月30日（木） 15:00～16:30
- 2 場 所：ヴェルクよこすか5階 第2会議室
- 3 出席者：桐谷座長、米田副座長、林構成員、高橋構成員、吉田構成員、  
角田構成員、宮川構成員、遠藤構成員、浅見構成員（計9名）
- 4 事務局：環境部環境政策課（出雲課長、畔柳主査、菊川）
- 5 傍聴者：なし

### ◆ 会議の流れ

- 1 開会
- 2 報告
  - ・ 令和6年度よこすか環境表彰式について
- 3 議題
  - ・ 環境教育指導者等派遣事業について
- 4 各構成員からの活動報告
- 5 その他

### ◆ 報告（よこすか環境表彰式について）

〔事務局からの説明〕

よこすか環境表彰式が令和7年2月1日にヨコスカ・ベイサイド・ポケットにて行われる。「横須賀いいねエコ活動賞」という地域の団体や学校で行われている環境活動を表彰するものと、夏休みに小中学生に募集した環境ポスターコンクールの入選者22作品の表彰を行う式典となる。

「横須賀いいねエコ活動賞」は、4年前に一度受賞し活動を継続している功労賞4団体と、学校で1年以内を目安に短期に活動を行った学校短期活動の部6団体が受賞となっている。環境ポスターコンクールは、市長賞1作品と協賛企業団体賞21作品の表彰を行う。

今後、よこすか環境表彰式に関連して、「横須賀いいねエコ活動賞」で受賞した活動について市内でPRしていくため動画等の作成を考えている。市内の環境活動についてPRできていない、賞をとっておしまいになっている課題があるため、自発的に行われている活動を紹介する事で、他の学校の活動の参考になったり、こういう活動に参加してみたいと

いうように、活動の幅が広がったりすることに繋がるのではないかと考えている。動画については、横須賀市のホームページ、公式 YouTube チャンネルで公開、また懇話会や環境教育のイベントで流す事を予定している。また、前回の懇話会でご意見をいただいたエコ通信も活用し、エコ活動賞をテーマとした発行も考えている。

#### ■桐谷座長

ただ今の事務局からの報告について、ご意見等お願いします。  
今回は表彰だけか。

#### ■事務局

表彰と、受賞のおもてなしとして、陸上自衛隊高等工科学校和太鼓部の皆様に 20 分程の演奏をお願いしている。

#### ■桐谷座長

一般の方も入場自由ということか。どこかで情報公開されているか。

#### ■事務局

この前報道発表を行った。ホームページ上で確認できる。

#### ◆議題（環境教育指導者等派遣事業について）

〔事務局からの説明〕

環境教育指導者等派遣事業は、環境に関する専門的な知識や経験を持った方々や企業の方が指導者として登録を行い、より深い学びにつながるようその指導者の方々を、学校をはじめとする環境教育の現場に派遣する事業である。

講座を掲載したテーマ集をホームページで公開し、また、毎年年度初めに校長先生の集まる学校長会や総合学習の担当の先生が集まる会議の中で、お配りしている。

現在 37 講座展開しており、学校などの団体からの申し込みを受けて、市が指導者と日程調整し派遣を行い、両者より報告書をいただくという流れで行っている。

実施回数は令和 5 年度 6 年度は 10 回を超え、延べ 400 人以上が受講しているが、もっと活用してもらいたい。

現状申し込みのある団体、学校がある程度固まっていることから、教育現場への周知が行き届いていないということが課題として考えられる。知られていないのは大変もったいないため、学校だけでなく保育園も含め、知ってもらうためにはどういった周知ができる

のかご意見をいただきたい。

環境政策課でも全ての講座の内容を把握できているわけではなく、こういう事をやりたいという申し出があった時に、特定の講座をおすすめする事が難しいため、これを効果的に活用してもらうためにはどういった事ができるか、実際にテーマ集を見ていただき率直なご意見をいただきたい。

#### ■桐谷座長

いろんな視点からご意見をいただければと思う。テーマ集もながめながら現状どういう風に捉えられているのか、どう感じられているのかというあたりから、具体的にすぐにごうする、と話を広げるのではなく、まず現状を見ながらご意見を出していただきたい

たしかに非常に細かく書いてある講座もあれば、そうでもない講座もある。それぞれ講座を企画されている方、実際に学校等で使われる側、いろいろな視点からご意見いただきたい。

#### ■宮川構成員

このテーマ集を学校へ送っているのか。

#### ■事務局

校長会の場で必ず1校に1冊は届くように、説明をして手渡ししている。

また、全学校ではない場合もありますが、総合的な学習の時間研究会の先生方の集まりの場でもご紹介させていただいている。なので、1冊～2冊各学校届くようにしており、市内私立学校へは郵送で案内している。

#### ■角田先生

今年度園長会でテーマ集をもらった時はすごく盛り上がったが、園児対象の講座が3つくらいしかなく、子どもたちが興味を示すものならいいが、内容の難易度などを考えてしまい申し込まないままになってしまった。

実績を見ると何園やっていたため様子を見てやりたいと思っているが、もう少し対象講座が増えたら選びやすいと思う。

#### ■吉田先生

この冊子の存在は4、5年以上前から知っていたが、実際に活用したのは今年度がはじ

めて。実際に活用してみると非常に便利でその分野のプロフェッショナルたちが子どもたちにわかりやすい教材を用意し、講義して下さり、非常に有意義な時間となった。

教員では教えられない部分が多いため、そこを補ってくれる面は非常に有意義だが、総合的な学習の時間に関しては、環境教育にスポットをあてる学習を1年間行う学校や学年というのはそんなに多くないと思う。総合だけでなく、社会科や理科にも関わってくると思うが、そういった教科は教科書がメインになるため、教科書の学習をしっかり進めつつ $+\alpha$ でこのような事業を使う時間を確保していくとなると難しい部分が出てくる。

総合は教科書がないため比較的自由にテーマを決め、年間70時間の中で外部の先生を呼び、講義をお願いするのは難しい事ではない。ただ、環境にスポットをあてて勉強することが決められているわけではないため、その時点で非常に対象が絞られるのが現状かと思う。

また、近年コロナの影響で学校現場に外部の方を呼んだり校外に出たりすることが難しかったところから最近少しずつ元に戻ってきている段階であるため、これからという面もある。

#### ■林さん

まず、自分自身の反省としてテーマ集の内容を足す必要があると感じている。

また、今年度講師として3回学校に行ったが、自分は行く前に「なぜ今回このテーマをやるのか」、「なぜ自分のところにお声がけいただいたか」を必ず聞くようにしている。

それを聞いて、学校が希望していることを考え、場合によっては「こんなことをやってみてはどうか」と提案したりとかしている。

今までの経験から、必ず最低でも1回か2回、先方の方と打ち合わせをしている。

また、今までの担当の方は私の講座と一緒に来てくださり、授業を見てくださっていたので、今後もぜひ見に来ていただきたい。過去の担当の方々は私がどんな事が得意か、どんな事ができるかを大体把握されており、学校から問い合わせがきても「こういう事がこの先生はできる」と助言してくれていたもので、そんな風に続けられたらいいと思う。

企業の方は会社の看板を背負って色んな事をするため複数人で訪問ができるが、個人ではそれが難しいため、いきなり2週後にやってほしいなどの対応はできない。最低でも1カ月くらいないと、資料を作ったり、資料を取り寄せたりと準備が難しいので、その辺の配慮をお願いしたい。

#### ■桐谷座長

テーマ集の林構成員の講座紹介はとてもシンプルですが、学校側からこの講座をやってほしいとコンタクトがあり、内容を詰めていかれたと思う。

まず、そのコンタクトがあったことが非常に大きいと思うが、そのきっかけは何だったのか。

### ■宮川構成員

林先生が訪問された沢山小は、当課の授業で天白先生に講師をしていただいた。この事業については、もしかしたら私か天白先生が伝えたかもしれないし、沢山小の先生が天白先生の授業をきっかけにホームページを見てくださったことも考えられる。

当課でも同じように講師を派遣しているが、学校からの申し込み後の打合せ、またフィールドワークには同行している。授業内容の把握や、生徒の安全確保のために必要だと思う。実際私が担当になる前、フィールドワークの際に生徒がハチに刺されてしまったことがあった。また、途中で歩けなくなってしまう児童が出ることもあり、その際一緒に行動できるよう、なるべく同行している。

同行することで授業の内容はある程度把握できており、問い合わせがあった際に「こういう事できる、ああいう事できる」ということを伝えられている。

テーマ集の文字数が少なく十分に記載できないのであれば、事務局として講師がどういう事ができるかをお問い合わせがあった時に説明できるような準備は必要だと思う。

### ■高橋構成員

テーマ集を見て感じたのは、指導者について個人名しか書いていないため、その人がどういった人なのかが分からない。「環境コンサル」など、その人の資格などの情報が入ると「この人に聞きたい」ということに結びつくのではないかと思う。

そして、最近学校でもSDGsに関連する授業をやっていることを考えると、SDGsのゴールに対して具体的にどんなことを学べるかを記載すると選びやすくなると思う。

また、今までの話を聞いて、具体的な内容は打ち合わせをもって決めることや、1か月ほど前には申し込みが必要であることを記載した方が調整しやすくなりお互いに良いと思う。

今年12月に温暖化対策地域協議会の活動として町内会で出前トークを行った。その時も申し込みをもらってから時間と内容を町内会と調整し、資料を作成し当日を迎えた。時間に余裕を持って調整ができると相手の希望と内容を合わせていくことができる。書いてある内容だけだと相手が思っている内容と異なることもあるため、そのあたりの調整が重

要である。

#### ■米田構成員

講座について参加したことがないので、1回参加してみたい。

テーマ集の中で気になるのは、対象が小学生～一般までと広いものも多く、それを1枚の資料で説明するのは難しいように思う。

#### ■遠藤構成員

直接講師とやり取りをすると授業内容について話を詰めていくことができると思うが、指導者派遣事業のように間に事務局が入るものは、講師と受講側が直接連絡を取ることなくおまかせになってしまい、結果思っていた内容と異なることが起きてしまうと思う。

基本的には何度か打ち合わせをされていると思うが、講座内容の中に、必ず1・2回打ち合わせをする、要望を講師に伝えて下さいと条件を加えてもいいのではないか。

また、課の別の係がやっている事業のコンテンツの1つは、大きく内容は変えられないが、打ち合わせによって内容を膨らませることもある。授業内容について相談できるなど書いてあるとより使いやすくなると思う。

#### ■事務局

打ち合わせの記載について、学校現場でその時間を調整していただくのが難しいのではないかと感じている。その中で、打ち合わせの必要回数を明記することは申し込みへのハードルが高くなることにつながることはないか。

#### ■吉田構成員

講座実施にあたり2回以上打ち合わせが必要となったらそれがハードルになる可能性もある。だが、伝えてほしい内容があって申し込んでいるため、教えてもらえないで終わってしまうことを回避するためにも1回は必要だと思う。ただ、その時間を調整することに対して教員それぞれの感じ方も異なるため、2、3回と打ち合わせが必要となると負担になるかもしれない。

#### ■林構成員

打ち合わせでは内容だけでなく、実施場所を確認し、パソコンの接続に問題が無いことなど、まずは実施できることを確認するためにも必要である。

## ■吉田構成員

また、先の学習の見通しを立てることは大変難しく、1か月先ならまだしも2か月先の総合的な学習の時間の進捗は中々分からない。そのため、2か月先を見通して申し込むのは非常に難易度が高い。その点、オーダーメイドと関連して、分野の詳しい方を紹介してもらえると授業の進捗に合わせて相談ができるため、そういった情報の掲載があると活用の幅が広がると思う。

総合的な学習の時間も深めたい時と、何かきっかけを与えたい時など学習の目的は様々のため、きっかけを与えたい時は内容が決まったものでいいが、深めたい時には決められているものと申し込みにくいこともある。特に企業の方は内容がしっかり決まっていて新たに資料を作り直してもらうことが難しいと思うが、柔軟に対応していただけると活用しやすい。

## ■桐谷座長

環境教育をやっている中でどんどんニーズが変わっていくと感じている。個人的には、そのニーズにフィットさせていくことは講師側の努力として必要だと思う。

今テーマに縛られずに講師に相談できるといいと意見があったが、この方法は園での実施の可能性も広がるかと思うがいかがか。

## ■角田構成員

分野を選択して講師をお呼びできると、子どもたちの興味があるところ、保育士として伸ばしたいところを伝えることができるため、取り組みやすくなると感じた。

たとえば、虫に興味を持ち、図鑑を出して自分たちで調べたりしているが、保育士では広げてあげることができない。そんな時に講師をお願いすることで目線が広がり、そこから子どもたちが違う興味を持つこともあると思うので、とてもいいと思う。

## ◆各構成員からの活動報告

### ■林構成員

1つ目は、今年度は沢山小学校と武山支援学校で指導者として授業を計3回行った。武山支援学校では海のごみの話をし、その後生徒たち自身でかながわ海岸美化財団とコンタ

クトをとり、実際に海岸のごみを拾って分別、分析をして活動についてのレポートを送ってくれて大変感動した。

2つ目は、こどもエコクラブをやっており、春と秋くらいに地域の公園で観察会をやっている。

3つ目は、猿島専門ガイドをやっており、学校関係の方が900人程市内外から来てくれていた。

最後に、自分の住む地域では地域活性化の取り組みを行っており、その中でつつじを植えたり、ごみ拾いをしたり、美化に関する部会の活動に参加している。

#### ■高橋構成員

1つ目は、12月に「気候危機の今、本気の温暖化対策を」というタイトルで温暖化対策出前トークを実施した。

2つ目は、今年も小中学生を対象にゼロカーボンコンテストを行い、244件の申し込みの中から20作品程度を表彰した。

3つ目は、一般の方を対象に緑のガーデンコンテストを実施し、17件の応募があった。

#### ■米田構成員

日産では、シンナーを使わない塗料への切り替えを進めている。

#### ■吉田構成員

活動報告ではないが、総合的な学習の時間研究会の広報部代表として出席しているため、今回の意見を共有し、総合で環境について取り組んでもらえるよう広めていきたい。

#### ■浅見構成員

今期は少なかったが、一般市民向けの土曜科学教室の中で環境に関わるものを行っている。

#### ■宮川構成員

学区の自然体験授業は12校順調に実施している。また、1月25日、26日に自然人文博物館で行われたみんなの理科フェスでポスターセッションへ参加、25日は自然環境講演会

を行い、当初の募集予定人数を超える 80 名近くが受講し、大変好評で大盛況だった。

#### ■角田構成員

保育園では食育に取り組み、今年度は環境政策課による劇を取り入れた食ロス講座を全 8 園で実施した。

#### ■桐谷座長

最近は気候変動への問題意識が高くなり、そこから災害対応に軸足が移っている。風水害や火山の噴火について調べており、人の生活と災害は切り離せないことを伝えていくことが必要だと感じている。SDGs を考えるときには、災害というリスクがあることを常に感じ、考えて生きていくことをどのように伝えていくかを考えているところである。

#### ◆その他 事務局から事務連絡

#### ■事務局

事務連絡が 2 点ある。

1 点目は、本日の議題について追加のご意見等があれば、2 月 13 日（木）までに事務局へご連絡をいただきたい。

2 点目は、駐車場駐車券の処理について。

#### ■桐谷座長

以上をもって、第 2 期第 2 回環境教育・環境学習推進懇話会を終了する。